

損保協会中部支部が防犯 CSR 実践企業として2年連続表彰

～ 自動車盗難防止活動や災害便乗悪質業者対策、交通事故防止活動が評価 ～

日本損害保険協会中部支部（委員長：渡辺 一奈・三井住友海上保険株式会社執行役員）では、全国防犯CSR推進会議が実施する防犯CSR実践企業として昨年度に続き2年連続で選定され、3月25日(水)に同会議が開催する表彰式に参加しました。

日時：2026年3月25日(水) 15:30～17:00

場所：海事センタービル

当支部が防犯CSR実践企業として選定されたのは、①愛知県警察本部と連携し、自動車盗難件数減少のため各種啓発活動を実施していること、②東海4県で災害に乗じて消費者を勧誘する悪質な業者とのトラブルを防ぐ活動を実施していること、③東海4県の警察等と交通事故防止活動を実施していることが評価されたものです。

当日は当支部の及川事務局長が出席し、賞状を受け取りました。

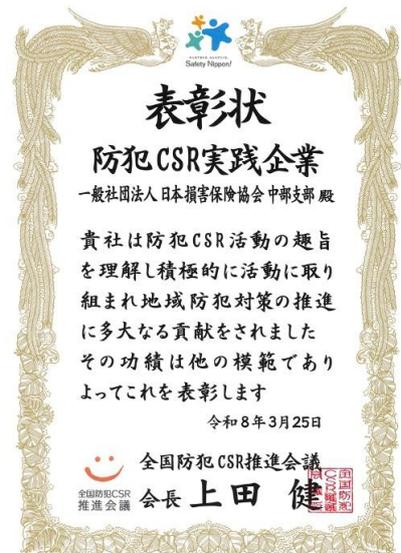
当支部の他、企業として3団体が受賞されました。また、企業とは別にマイスター表彰として3名または団体が受賞されました。表彰式終了後、同会議顧問の大久保智生先生（香川大学教育学部教授）から「令和時代の地域防犯の考え方と進め方」と題する基調講演があり、「犯罪者は人目を人一倍気にする。地域での声掛けは大きな犯罪抑止になる」とのコメントがありました。

当支部では、引続き地域課題に根差した安全で安心な社会の実現を目指して、積極的な活動を行ってまいります。



「2026年3月25日 第7回防犯CSR実践企業表彰 全国防犯CSR推進会議」

受賞団体の記念撮影（及川事務局長は後ろの一番左）



表彰状